



# 汎用的クラウド技術を活用した 校務の情報化による勤務時間の短縮


国立大学法人 信州大学

森下 孟

[morisita@shinshu-u.ac.jp](mailto:morisita@shinshu-u.ac.jp)



# 取組概要

- GIGAスクール構想を通じた汎用的クラウドサービスによる学校の働き方改革&校務のDXの実証
    1. 校務文書の共同編集・決裁によるデータ活用の効率化
    2. 児童生徒の学習データの共有，  
教員間での成績処理の共有などによる協働化
    3. 児童生徒の欠席連絡や学年通信など，  
保護者などとのデータ配受信の円滑化・共有化
- 
- 事業終了時：  
校務に要する時間：1日あたり約50分間の短縮，  
1週間あたりの時間外勤務時：事業開始時の80%に短縮



# 課題解決への先端技術の活用 技術の活用方法

Classroom



学級通信や学年だより、  
献立表をClassroomにて配信。  
ペーパーレス化による経費削減。

Google チャット

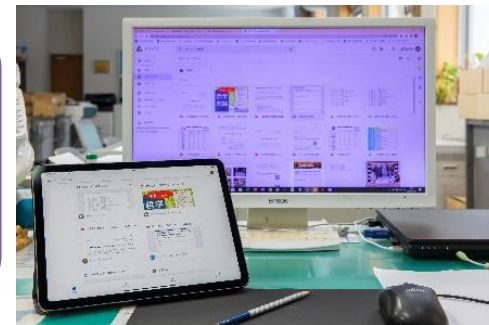
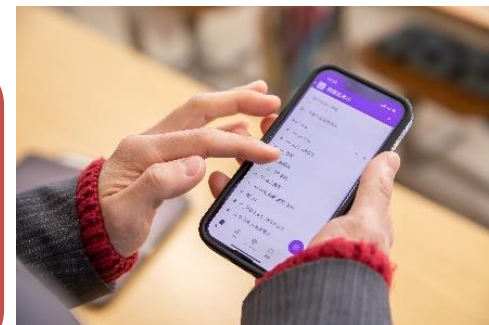


業務にあたって少し確認したい時や  
連絡を取り合いたい時に使用。

Google ドライブ  
Google チャット



業務で使用したスプレッドシートや  
スライドを上記に保存，だれでも  
使用できるようにし時間短縮をはかる。





# 課題解決への先端技術の活用

## 技術の活用方法

Google Forms



欠席連絡は電話連絡をやめて  
Google Formsで管理することで、  
運用管理を簡素化することが可能。

Googleドキュメント



定期的に発行する通信や  
会議資料を自分のペースで  
作成できるようにする。

Google  
スプレッドシート  
ドライブ など



ペーパーレス化が進むことで、  
効率よく作業ができるようにする。





# 課題解決への先端技術の活用 技術活用上の工夫

## ・ 情報セキュリティの研修・支援

- 実証校教諭を対象とした情報セキュリティに係る基礎的知識の研修等を実施
- セキュリティ対策等の指導の徹底,トラブル対応の協力や教諭および保護者,児童生徒への指導・支援にあたった

## ・ 教職員への周知徹底と意識改革

- 技術導入による全教職員への周知徹底と意識改革
- ICT技術の高い教職員による技能的なサポート
- 苦手意識のある教職員も徐々に活用できるようになった



# 課題解決への先端技術の活用

## 技術活用上の課題

### • 校内研修の充実

- 技術活用に積極的な教職員とそうでない教職員間における技術能力的な差が生じている
- 働き方改革の意識を高め、必要観のある技術活用へ

### • アクセス権限に対する意識の明示化

- 不要に情報・データの公開をしてしまうケースが散見
- ポリシーに基づく情報運用管理レベルの適正な見極め
- 最小範囲でのアクセス権限付与に対する意識の徹底へ





# 先端技術を活用した効果

- 各種会議の短縮 (30分/日)
- 職員会の廃止 (60分/週)
- 欠席連絡の効率化 (20分/日)
- 学級通信の電子化または縮小・廃止
- 自動採点 (CBT) の導入
- 印刷機等へのアクセスの向上 (10分/日)
- チャット機能を導入し職員間の連絡を電子化
- 日報・週暦等, 各種資料のペーパーレス化



30~50分の  
時間短縮

児童生徒との  
時間増

単なる勤務時間の短縮ではなく  
業務内容の改善につながる



# 先端技術を活用した効果

## • 効果の検証

技術導入前後において、「どのように校務が変わったのか」アンケート調査の実施（3月初旬）

## • Webサイトでの情報発信

長野県GIGA専用Webサイトから実践成果を情報発信（3月初旬）



校務のDXフォーラム

校務のDXを実現し  
学校の働き方改革を

子どもたちが拓く  
新しい学び  
GIGAスクールWEB  
サイトへ

校務のDXを実現し勤務時間の短縮から学校の働き方改革を実現することを目的に、GIGAスクール構想を通じて導入された機器・サービスを校務のDXに活用し、新たなシステム導入がなくても、既存システムから校務の効率化が図れることを実証します。

### 01

#### 配布物をクラウド化

いままでプリント配布していた学級通信一学年日より、classroomを使用して送付することになりました。印刷物が削減されることにより印刷コストが削減され、また子どもたちとの時間も増やすことができました。また保護者に渡し忘れもなくなったことによって再配布の必要もなくなり、保護者の学校・子どもへの理解も向上しました。



使用したICT： Classroom

学級通信や学年日より、献立表をClassroomにて配信。ペーパーレスにより、経費削減をはかれました。





# 今後の展望

- **さらなる働き方改革・校務DXに向けて**
  - 実証校では, 今回の取り組みを継続・拡張
  - 附属幼稚園, 特別支援学校への取り組み拡大
  - 勤務時間の効率化を図り, 児童生徒に還元
- **事業成果のモデル化とクラウド活用普及**
  - 校務の情報化に取り組む自治体や学校等への支援・助言(地方国立大学としての地域貢献)
  - 校務の情報化モデルを推進するための新たな担い手となる教員養成学部生への指導